

**令和6年度**  
**社会福祉法人 弘心会**  
**事業報告書**



## <法人基本理念>

### 経営理念

あなたの大切な家族は私たちにも大切な家族です  
お客様と地域に「愛」される法人と社員の「幸せ」を実現します

### 人事理念

- ・高い技術とプロ意識を持った人財を育成します
- ・創意工夫のできる優秀な（社会に役立つ）人財を育成し、お客様と地域に愛される存在となります

### 行動理念

- ・社会人として良識ある行動を心がけます
- ・「仕事は楽しく」「職場は明るく」けじめのある行動をします
- ・仲間を思いやり、チームワークを大切に、進んで行動します
- ・積極的に企画提案し、無駄なく効率よく行動します
- ・整理、整頓、清掃、安全で衛生的な環境づくりを徹底します
- ・信用と信頼をモットーに誠実に行動し、幸せを提供し続けます

### 目標・経営姿勢

- ・介護・看護・多職種との連携で、お客様に『愛』のある真心のこもったケアの提供をします
- ・技術の向上、資格取得へ向けてのサポート体制を強化し、常に優れたケアを提供し続けます
- ・明るく楽しく笑顔で前向きに働けるよう職場環境の向上に努めます
- ・希望と誇りを持てる法人を目指します
- ・安定経営に向けて、利益を確保し続けます
- ・地域の皆様に『愛』される法人を目指します
- ・『感謝の気持ち』と『プロ意識』を常に心がけます

## ＜施設運営基本理念・運営方針＞

### 1. 基本理念

利用者様、入居者様が日々の生活にご満足いただくために、ほうらい苑の運営の基本理念を次の三項目としました。

第一に「自立」と「安心、安全」をテーマに、利用者様や入居者様を中心とした基本的人権を尊重した、信頼される介護を実践します。

第二に「利用者様（入居者様）が安心して家庭的な生活ができるよう多様な福祉サービスを提供します」。

人間の、幸せな生活を支える基本は、安心と思いやり（愛）です。利用者様（入居者様）が幸せを感じることができる介護をします。

第三に「利用者様（入居者様）が生き甲斐を持って生活できるよう支援します。」生きている喜び、明日への希望が持てるような介護をします。

人間は目標を持って生活することが生き甲斐になります。行事や季節折々のイベントを組み合わせながら目標のある生活を支援します。そして、地域社会に貢献できる施設を目指し、常に最善を尽くしていきます。

### 2. 運営方針

- (1) 生活の場として快適空間を実現します
  - ・ 施設内外の清潔・整理整頓
  - ・ 明るい環境の維持
  - ・ 笑顔と思いやりのある毎日
- (2) 利用者様（入居者様）の健康維持に努めます
  - ・ 利用者様（入居者様）の健康管理の徹底
  - ・ 早期発見・早期処置
  - ・ 病気感染への予防対策の完全実施
- (3) 職員間のチームワークを良くして明るい施設・明るい職場を実現します  
各職場内・職場間のコミュニケーションを密にし、連携してより良い介護を実践します
- (4) 介護技術の向上に努力します
  - ・ より良い介護の実践のために、介護スキル、看護スキルの向上に組織的に取り組みます
  - ・ 全職員の意識を高めるための研修、勉強会を積極的に取り入れます
- (5) 地域における公益的な取組を積極的に行います
  - ・ 地域の福祉ニーズの把握に努め、実情に応じた多様な地域社会貢献活動及び福祉サービスの提供に取り組みます

この施設をご利用されるすべての方（利用者様、入居者様とそのご家族の方々）に、「この施設に来て良かった、ここのスタッフに出会えて良かった」と思ってもらえるようなほうらい苑をみんなで作らしましょう。

**「あなたの大切な家族は、私たちにも大切な家族です」**

## ユニット型特別養護老人ホーム ほうらい苑

入居者様一人一人の意思及び人格を尊重し、施設サービス計画（ケアプラン）に基づき、その居宅における生活への復帰を念頭において、入居前の居宅における生活と入居後の生活が連続したもの（暮らしの継続）となるよう配慮しながら、各ユニットにおいて入居様が相互に社会的関係を築き、自律的な日常生活を支援することを目指します。

平成 20 年 4 月 事業開始

定員 60 名 6 ユニット

令和 6 年 3 月 31 日現在 入居者数 42 名（うち男 6 名、女 36 名）

## ほうらい苑指定短期入所（介護予防短期入所）生活介護

ユニット型指定短期入所生活介護は、利用者様一人一人の意思及び人格を尊重し、指定短期入所生活介護の利用前の居宅における生活と利用中の生活とが連続したもの（暮らしの継続）となるよう配慮しながら、各ユニットにおいて利用者様が相互に社会的関係を築き、自律的な日常生活を営むことを支援することにより、利用者様の心身の機能の維持並びに利用者様ご家族の身体的及び精神的負担の軽減を図ることを目指します。

平成 20 年 4 月 事業開始

定員 19 名 2 ユニット

令和 6 年度利用者数は延べ 4563 名、1 日平均 13 名の利用

## ほうらい苑デイサービスセンター指定地域密着型通所介護・予防給付型通所サービス事業所

要介護状態となった場合においても、その利用者様が可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、入浴、食事の提供、機能訓練等を行い、利用者様の社会的孤立感の解消及び、心身機能の維持並びに利用者様のご家族の身体的及び精神的負担が解消できるよう支援します。

令和 4 年 5 月より、地域密着型通所介護として運営。

定員 18 名

実施地域 和歌山市

令和 6 年度利用者数は延べ、3,694 名、1 日平均 14.3 名の利用

## ほうらい苑指定居宅介護支援事業所

要介護状態や要支援状態にある高齢者に対して、ケアプラン作成等を行い、適正な居宅介護支援を行います。また、同法人の特別養護老人ホーム（入居・短期入所・通所）を持つ強みを活かし、総合的なサービスを提供します。

介護支援専門員 1 人あたり担当利用者数は 3 5 名以内

実施地域 和歌山市・海南市

令和 6 年度利用件数は、延べ 705 件 要介護 1 : 99 件、要介護 2 : 170 件、

要介護 3 : 185 件、要介護 4 : 168 件、要介護 5 : 85 件

## <令和6年度 重点課題の取り組みと実績>

### (1) ユニットケア・自立支援介護・各委員会・会議の取り組みについて

- ◆ ケアプランに基づいた入居者様の生活のサポート・・・介護支援専門員
  - ・ ユニットミーティングで検討された各入居者様の意向や生活リズムを、ケアプランや 24H シートへの反映
  - ・ 専門職と連携し残存能力を細かくアセスメントした内容を取り入れたケアプランの作成
  - ・ 1年を通して 24H シートの見直しの実施
  - ・ ご家族からの相談や苦情の受付や入居者様の状態などを密にご家族へお伝えする連絡体制の強化
  
- ◆ 自立支援介護（科学的根拠に基づくケア）の取り組み・・・各専門職、ユニットリーダー
  - ・ 自立支援促進加算算定
  - ・ 看護師のフロア配置による個別機能訓練の強化
  - ・ 委託歯科医師による義歯の作成や嚥下能力の向上
  - ・ 自立支援介護（科学的根拠に基づくケア）に関する委員会の開催
  - ・ 入居者様に合わせた車いす、ベットマットレス、ポジショニングクッションの選定・購入
  - ・ 水分摂取の強化、トロミの統一
  - ・ 入居者様の状態に合わせたパットの見直しを強化
  - ・ 自立支援評価表の様式の変更
  
- ◆ 褥瘡予防に関する取り組み・・・各専門職
  - ・ 褥瘡委員会の毎月の開催
  - ・ 褥瘡予防の強化
    - 褥瘡マネジメント加算算定
    - 看護部内でのカンファレンスを実施し、予防と治癒に努めた
    - 個々の入居者様に合わせたマットの選定、ポジショニングの実施。皮膚状態の観察を強化。
  
- ◆ お食事（栄養ケアマネジメントの強化）に関する取り組み・・・管理栄養士
  - ・ 行事食の提供
    - 「オリジナルソフト食の提供」
      - 個別の対応として、入居者様の要望にお応えしたサービスの実施
    - 「季節の行事」
      - 七夕そうめん・夏祭り・寿司・節分の巻き寿司・クリスマス 等
  - ・ 栄養ケア計画書の作成
    - 個々の入居者様の体格、活動レベルに応じた栄養ケアの計画書の作成。
  - ・ 経口維持加算 I の取得
    - 入居者の QOL 向上および嚥下機能の維持・改善を目的として、経口維持加算 I を算定。
    - 医師・歯科医師・看護職員・管理栄養士・介護職員などの多職種による連携体制を整備し、個々の入居者の摂食・嚥下機能に応じた支援を行った。
  - ・ 食事委員会の毎月の開催

◆ 機能訓練に関する取り組み・・・OT（作業療法士）

(1) 身体機能を維持していく為の個別機能訓練

- ・利用者様 1 人 1 人に対して直接、関節可動域訓練、筋力増強訓練、基本動作訓練、ADL 訓練、歩行訓練などを提供していくことで、生活のしづらさを改善することや、現状の ADL を維持していく。

(2) ポジショニングについて

- ・自力で寝返ることが出来ない利用者様（入居者様）や、褥瘡が発生するリスクのある利用者様に、クッション等を使用して安全で快適な姿勢を保持していく。

(3) 新入社員及び介護職員への指導について

- ・新入社員に対して基本動作（寝返り、起き上がり、移乗動作）の介助方法を直接指導することで、入社してすぐに座学での研修を取り入れることで基本的な介助方法や、褥瘡に関する知識を得ることができ、利用者様（入居者様）の安心安全に繋がり、職員の負担も軽減された。
- ・移乗サポートロボット Hug や SASUKE の使い方を指導する事で介護職員の負担軽減に繋がった。

(4) 不安な気持ちが強い利用者様・入居者様に対する心のケアについて

- ・入居されている利用者様の大半は認知症を抱えています。「家に帰りたい」「寂しい」といった気持ちを少しでも和らげる為に、積極的にコミュニケーションをとり、各利用者様のバックグラウンドを理解しながら、訴えを傾聴、共感、受容するといった関わり方をしていく。

◆ ユニットリーダーを中心とした取り組み・・・ユニットリーダー

- ・生活リハビリによる ADL の向上
- ・入居者様の日々の様子を写真で家族様に郵送  
行事の様子や、入居者様の日常の様子を伝える手段の一つとして採用
- ・ユニットミーティングの開催
- ・季節の行事開催  
「花火、運動会、お誕生日会 等」
- ・日常生活での充実  
食器洗い・おしぼり巻き・新聞折り・タオル干し等の日常生活での役割を持ってもらっている。
- ・個々に合わせたレクリエーションの実施  
「イージーウォーク、ヘルストロン、施設内の散歩 等」
- ・リーダー間の連携強化と課題共有の推進  
現場のケアの質向上と業務の効率化を図るため、フロアリーダーおよび部署リーダーが定期的に集まり、ケアに関する課題や業務上の悩みを共有・相談し合う場を設けた。リーダー同士の連携強化を図り、組織全体の運営の安定化に繋がった。

◆ 看護体制の強化

- ・看護師ユニット固定配置の実施  
ユニット毎に看護師を配置することで、ユニットケアの視点である「一日の暮らし」を大事にしながらなじみの関係を深めることができるようになった。以前は日々違ったユニットを受け持ち、その日その日の対応になってしまっていたが、固定配置をすることによって入居者様一人一人と深く関わることができ、より個別的なケアを実践することができるようになった。

- ・ 看護部内でのカンファレンスの実施  
定期的な部署内でのカンファレンスを実施し、看護の質の向上、統一した看護ケアの実践に努めた。
- ・ 看護師による機能訓練の強化  
個別性のある看護計画の一つとして「機能訓練の強化」を行った。四肢の拘縮による介護負担の軽減や下肢筋力維持、認知機能維持を目的としてリハビリテーションに取り組んでいる。

◆ リーダー会議の開催状況

※介護サービス(全部門)の向上を目的とした情報及び意見交換の場  
※事業計画に基づいた施設運営に向けて経営方針の統一と予実績の検討

内容		
令和 6 年度	4月	3月度の実績報告 各フロア及び各部門別の現状報告 介護報酬改定に伴う職責等の見直しについて 接遇について
	5月	4月度の実績報告 各フロア及び各部門別の現状報告 腰椎検査について 施設内研修のアンケートについて 昇進報告について 特浴入れ替えについて 事業報告書について
	6月	5月度の実績報告 各フロア及び各部門別の現状報告 食中毒・熱中症について 賞与支給について 不要書類の処分について
	7月	6月度の実績報告 各フロア及び各部門別の現状報告 健康アンケートについて 自立支援計画書について リーダーに求められる資質について
	8月	7月度の実績報告 各フロア及び各部門別の現状報告 災害時の避難経路について 計画停電について 申し送り方法について
	9月	8月度の実績報告 各フロア及び各部門別の現状報告 職員面談について 健康経営フィードバックについて
	10月	9月度の実績報告 各フロア及び各部門別の現状報告 インフルエンザの予防接種について 5階売店について 物品・消耗品の使用状況について LINEグループの作成について
	11月	10月度の実績報告 各フロア及び各部門別の現状報告 賞与支給について 週末の面会について 特浴大副時について
	12月	11月度の実績報告 各フロア及び各部門別の現状報告 抽選会について 事故委員会について 年末年始の事務所待機について
	1月	12月度の実績報告 各フロア及び各部門別の現状報告 健康診断について オンコールマニュアルについて
	2月	1月度の実績報告 各フロア及び各部門別の現状報告 福利厚生について リーダー間協議について
	3月	2月度の実績報告 各フロア及び各部門別の現状報告 水分補給について 事業計画書について 職員面談について 清掃部署開設の提案 施設内図書開設の提案

◆ 各委員会の開催状況

・ **食事委員会**（毎月開催）

目的

- ・入居者様(利用者様)のニーズに沿った食事を提供する
- ・食事の提供マニュアルに沿っての食材管理の徹底と衛生管理の徹底

内容		
令和6年度	4月	春バテについて 盛り付けのポイント
	5月	五月病とは セロトニンの増やし方
	6月	手指衛生のタイミング
	7月	嗜好調査結果
	8月	高齢者はなぜ熱中症になりやすいのか
	9月	トロミのつけ方 トロミが付きにくい飲料とは
	10月	冬に流行するウイルス 冷え性を予防するには
	11月	噛むことの効果
	12月	義歯と食事 年末年始の申し送り
	1月	冬型栄養失調を防ぐ食べ物
	2月	嚥下の基礎知識
	3月	嚥下体操 口・舌の動きをスムーズにする体操

・ **自立支援向上委員会**（毎月開催）

目的： 科学的根拠に基づくケアを実践することにより、入居者様に自分らしく元気に過ごして頂く  
個々の入居者様の必要水分摂取量の把握と、便薬の使用状況の把握

テーマ 「周辺症状のタイプ分け、各々の対応」

「QOLを向上させる介護」

「自立支援介護とは」

「身体機能と活動能力を引き出す介助」 等

・ **事故防止委員会**（毎月開催）

目的： 事故防止に関する指針の見直し

事故報告書とヒヤリハットを活用し、事故防止につなげる

事故を“0”にするのは難しいが、未然に防ぐ為の危険予知を身に付ける

テーマ 「先月の事故報告書の振り返り」

「服薬事故について（服薬介助マニュアルの徹底）」

「ヒヤリハットの検印状況と活用方法について」 等

・ **安全衛生委員会**（毎月開催）

目的

・全職員が安全で衛生的な環境で働けるように

・職場内の危険の察知と、健康障害を防止するための措置の検討

内容		
令和6年度	4月	施設内の安全・衛生に関する巡視報告 メンタルヘルスケア「介護現場に求められる職場環境とは」
	5月	施設内の安全・衛生に関する巡視報告 メンタルヘルスケア「増える6月病 あなたは大丈夫？」
	6月	施設内の安全・衛生に関する巡視報告 メンタルヘルスケア「歯と口の健康について」
	7月	施設内の安全・衛生に関する巡視報告 メンタルヘルスケア「寝苦しい夏の夜を快適に過ごす睡眠管理術」
	8月	施設内の安全・衛生に関する巡視報告 メンタルヘルスケア「適切な水分補給とは」
	9月	施設内の安全・衛生に関する巡視報告 メンタルヘルスケア「飲み物のカロリー、確認してますか」
	10月	施設内の安全・衛生に関する巡視報告 メンタルヘルスケア「朝食は仕事のパフォーマンスを上げるカギ！」
	11月	施設内の安全・衛生に関する巡視報告 メンタルヘルスケア「体の不調に関する男女の自覚症状の違い」
	12月	施設内の安全・衛生に関する巡視報告 メンタルヘルスケア「血流アップで冷え対策！/肩こりこれだけ体操」
	1月	施設内の安全・衛生に関する巡視報告 メンタルヘルスケア「食事に隠れた油や糖を探せ！」
	2月	施設内の安全・衛生に関する巡視報告 メンタルヘルスケア「腸活で心も体も健康に」
	3月	施設内の安全・衛生に関する巡視報告 メンタルヘルスケア「オフィスで簡単ストレッチ」

・週に1回のユニット巡視を実行

キッチン周辺や、リビング等の環境整備を徹底

・ **褥瘡予防委員会**（毎月開催）

目的：褥瘡対策予防の指針の見直し

ブレーデンスケールを活用し褥瘡にならないケアに取り組む

褥瘡発生者の早期発見、早期処置

テーマ 「褥瘡発生者、ハイリスク者の経過報告について」 等

・ **身体拘束廃止委員会**（毎月開催）

目的：身体拘束等適正化のための指針の見直し

身体拘束ゼロを維持していく

スピーチロックの廃止

テーマ 「赤外線センサー使用者への取り組みについて」

「スピーチロックの概要について」 等

・ **苦情解決委員会**（不定期開催）

目的：相談や苦情の内容を精査し、今後の介護サービス提供に活用する

受付件数：令和5年度 0件

令和6年度 0件

・ **感染予防委員会**（3ヶ月に1回開催・感染時期は必要に応じて）

目的：感染症及び食中毒の予防及びまん延防止のための指針の見直し

感染症対策の基礎知識を身に付ける

テーマ 「感染症対策について（新型コロナウイルス・インフルエンザ・ノロウイルス・疥癬等）」

(2) 設備面（ソフト・ハード）での取り組み

◆ 特殊浴槽の入れ替え

JKA 競輪とオートレースの補助事業を受けて、特殊浴槽の入れ替えを行った。

最新の特殊浴槽を導入することで安心かつ快適な入浴サービスが提供でき、入居者様の QOL 向上に繋がった。また、スムーズな操作性を活かし、時間的問題が解決され、特殊浴槽が必要な入居者様に確実に特殊浴槽での入浴介助を行えるようになった。より確実に丁寧なケアを提供することで、清潔を保ち、感染症や皮膚疾患の予防にも繋げることが出来た。



◆ 業務用乾燥機の入替え

老朽化が進んでいた業務用乾燥機の入替えを行った。新しい乾燥機は処理能力が高く、乾燥時間の短縮や、職員の業務負担軽減に繋がっている。乾燥性能が向上し、リネン類の衛生状態の維持にも役立っている。



(3) 看取りケア体制の強化・・・看護師、介護支援専門員

◆ 看取りケア体制の構築・強化を図り、その人らしい最期を迎えられる取組み

- ・ 他職種と連携し、積極的な看取りの受け入れの実施と施設内研修の開催。
  - ・ その人らしい最期を迎えられるよう、ユニットミーティング等でも話し合い、最期に何が出来るかを模索し、その人に寄り添ったケアの提供に努めた。
  - ・ 看取り終了後、亡くなった方のデスカンファレンスを行い、「何が出来て、何が出来なかったのか」を検討し、次回の看取りケアに活かせる取り組みの実施。
  - ・ 看取り中の入居者様の治療に関して、多職種でカンファレンスを行い、よりご本人やご家族の意向が反映されるよう努めた。
    - ・ 眠りスキャンを活用し、呼吸数やバイタルの観察を強化。
- 人員の少ない夜間帯でも、状態の変化に気づき、最期まで寄り添えるように努めた。

年間看取り実施者数	令和 5 年度……………	17 名
	令和 6 年度……………	17 名

看取りアンケート…令和6年度は17名に送付し、12名から返信。

－ ほうらい苑退居後アンケート －

No	質問事項	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い
①	職員の身だしなみは清潔感がありましたか？	11	0	1	0	0
②	質問事項	とても丁寧	丁寧	普通	丁寧でない	失礼
	職員の言葉遣いや立振舞い 電話応対などは丁寧でしたか？	7	5	0	0	0
③	質問事項	とても清潔	清潔	普通	やや清潔でない	不潔
	施設内は清潔でしたか？	6	6	0	0	0
④	質問事項	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い
	施設内設備についての印象はいかがでしたか？	8	0	4	0	0
⑤	質問事項	とてもできる	できる	普通	あまりできない	できない
	相談事や健康状態について職員に気軽に相談できる環境でしたか？	6	4	2	0	0
⑥	質問事項	よくしてくれた	してくれた	普通	あまり迅速でなかった	迅速でなかった
	入居者様や家族様の意向を聞き入れて迅速に対応してくれましたか？	6	5	1	0	0
⑦	質問事項	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い
	健康状態の変化時やケガ等の連絡対応は適切でしたか？	9	3	0	0	0
⑧	質問事項	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い
	看取り期の説明や、対応は適切でしたか？ (医師・相談員・看護師・介護士)	11	1	0	0	0
⑨	質問事項	とても良かった	そう思う	普通	あまり思わない	思わない
	ほうらい苑を利用して良かったと思いますか？	7	5	0	0	0
⑩	質問事項	もちろん勧める	勧めると思う	聞かれれば勧める	あまり勧めない	お勧めしない
	ほうらい苑を知人に勧めようと思いますか？	5	5	2	0	0

(4) 人材確保・職場環境改善の取り組みと実績

◆ 人材確保に関する取り組み

- ・ ホームページへの様々な取り組みやイベント情報、求人募集の定期的なアップ
- ・ アイテムへの掲載（折り込み・ネット）
- ・ フェイスブック・Instagram の定期的な更新
- ・ 扶養手当支給額の充実（18歳未満の子に限り）
  - 扶養配偶者あり 1人につき 15,000円/月（人数制限なし）
  - 配偶者なし（扶養なし含む） 1人につき 15,000円/月（1人のみ、それ以外 10,000円）
- ・ 特別手当の充実（シングルマザー・ファザーサポート手当）
  - 介護職に従事している正職員対象 18歳未満の子に限り 20,000円



・ 新人オリエンテーションの実施

オリエンテーション内容一覧

テーマ	
1	配属先・勤務形態について
2	ユニットケアマニュアル ・24Hシート・ケース記録・生活表 ・自立支援介護（科学的根拠に基づくケア）について
3	新人研修マニュアル ・基本理念・行動指針・組織概要 ・組織図・役割 ・個人情報保護法について ・各会議・委員会・キャリアパス制度
4	高齢者虐待防止・人権擁護について
5	介護職員接遇マニュアル
6	服務規律（第5章）
7	看護・介護マニュアル（p1～p57） ・介護・看護職員の心得・接遇・食事介助・服薬介助・口腔ケア ・入浴介助・排泄介助・移動、移乗介助・認知症ケア・介護事故防止
8	一言声掛け・応答へのアドバイス
9	指導職員ノート・新人チェックリスト
10	（早出・遅出・夜勤）チェックシート・試用期間評価表
11	事故報告書・ヒヤリハットについて
12	服薬チェックシートについて
13	その他（ユニットケア教材DVD視聴と質疑応答）

◆ 入居前カンファレンスに関する取り組み

新規入居者様（ショート利用者様含む）が入居・利用される前に事前準備がスムーズに行えるように各ユニット、専門職に申し送る場を設けた。

◆ 福利厚生に関する実績

項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度
有休休暇取得率	74.9%	76.4%	77.3%
パズデー休暇取得率	100.0%	100.0%	100.0%
3年勤続表彰者	11名	4名	4名
6年勤続表彰者	9名	3名	4名
10年勤続表彰者	3名	3名	4名
15年勤続表彰者	2名	1名	
新人職員入職者数	正:6名 準:1名 パート2名	正:6名 パート:2名	正:6 準:1名 パート:3名
職員定着率	92.5%	100%	100%
退職者数	正:5名 パート:4名	正:7名 パート:3名	正:5名 パート:2名
平均勤続年数	5年4カ月	6年7カ月	6年8カ月
男女構成比	男性2.5割:女性7.5割	男性2.9割:女性7.1割	男性3割:女性7割

※職員定着率は令和7年1月1日時点での従業員数/令和6年1月1日時点での従業員数で算出しています。

◆ 資質向上に関する取り組みと実績

◎部門別有休取得率

部門	令和4年度	令和5年度	令和6年度
特養・ショート	80.4%	67.3%	78.9%
デイサービス	61.6%	80.6%	72.4%
事務・居宅	81.7%	98.5%	79.0%
看護・OT	78.2%	91.9%	68.9%
洗濯・清掃	94.2%	76.0%	76.3%

・ 法人補助金制度活用者

初任者研修受講者 0名

実務者研修受講者 1名

- ・ 介護福祉士合格者数 2名
- ・ リーダー会議の開催 12回
- ・ 施設内研修開催 12回
- ・ 施設外研修参加 10回

◆ 新人指導に関する取り組み

- ・ 移乗研修、排泄ケア研修、感染症研修を OJT の一環として実施

移乗研修：基本動作の介助技法、褥瘡予防（担当：機能訓練指導員）

排泄ケア研修：排泄ケアの考え方や排泄用品の選定、排泄手順の実践（担当：ユニットリーダー）

感染症研修：感染対策の考え方や対応の仕方、実戦での活かし方（担当：看護師）

- ・ OJT 計画書の導入
- ・ 新人指導ノートの活用
  - ・ 新人チェックシートの活用

◆ 施設外研修一覧表

	開催日	開催時間	内容	参加者	会場
1	4/16	13:30~15:00	介護支援専門員ネットワーク会議 『ヤングケアラーについて』	城山 卓也 出口 能子	秋葉山公園県民水泳場・B1会議室
2	6/13	13:30~15:00	介護支援専門員ネットワーク会議 『高齢者の口腔健康管理について』	城山 卓也 出口 能子	秋葉山公園県民水泳場・B1会議室
3	7/3	13:30~16:30	地域共生社会の実現に向けた取組について	城山 卓也	和歌山ビッグ愛・1階展示ホール
4	8/20.8/22.8/27	10:00~16:30	介護支援専門員試験対策勉強会 I II III	和田 優貴	和歌山ビッグ愛・2階展示ホール
5	5/23 7/4 7/11 7/24 8/7 8/27	9:00~18:00	介護支援専門員 更新研修 専門課程Ⅱ	村田 章	※zoomにて自宅より接続
6	8/19	14:00~16:00	介護支援専門員ネットワーク会議 『自立支援型地域ケア会議を身近に』	城山 卓也 出口 能子	紀の国住宅南コミュニティセンター活動室(大)
7	10/24	13:30~15:30	介護支援専門員ネットワーク会議 『感染症・災害・BCPについて』	城山 卓也 出口 能子	秋葉山公園県民水泳場・B1会議室
8	2/14	9:50~16:10	介護事故予防研修	藤本 美和	※zoomにて自宅より接続
9	2/13	13:30~16:40	人材を育成し定着させるためのマネジメント	城山 卓也	※ライブ配信視聴型研修
10	3/18	13:15~17:00	施設長管理者研修	西村 佳寿美	アバロームきのくに

◆ 施設内研修一覧表

	テーマ	担当者	内容
4月	褥瘡に関する研修	板原 宏弥	褥瘡の発生リスク軽減や、予防に向けての適切な援助法を学ぶ
5月	事故の発生、予防、再発防止に関する研修-①	村田 章	事故防止活動、事故後の対応について
6月	感染症及び食中毒の発生の予防及び蔓延の防止に関する研修	中島 晶絵	感染症を未然に防ぐための注意点や、発生した場合の症状や対応について
7月	認知症ケア / 精神的ケアに関する従業者研修	城山 卓也	認知症、精神的ケアへの理解を深め、適切なケアを身につける
8月	身体拘束の排除 / 虐待防止に関する研修-①	石橋 亜沙美	虐待や身体拘束についての学びを深め、人権擁護の必要性を認識する
9月	従業者に対する医療 / 緊急時対応に関する研修	藤原 昌子	福祉職に求められる医療知識や、急変時の正しい対応について
10月	非常災害時（BCP）の対応に関する研修	中島 晶絵	非常災害発生時の指針についての理解を深める
11月	事故の発生、予防、再発防止に関する研修-②	藤本 美和	事故防止活動、事故後の対応について
12月	感染症発生の予防及び蔓延の防止に関する研修	石橋 亜沙美	感染症を未然に防ぐための注意点や、発生した場合の症状や対応について
1月	介護従業者に対するコンプライアンスに関する研修	城山 卓也	個人情報/ハラスメント/接遇などについて
2月	身体拘束の排除 / 虐待防止に関する研修-②	矢部 晴久	高齢者虐待防止関連法を含む虐待防止に関する研修 身体拘束の排除
3月	看取りに関する従業者研修	藤原 昌子	本人様、家族様の終末期の心身状態や、職員の正しい対応について

(5) 居宅介護支援事業所の取り組み

◆ 地域における公益的な取組みと実績・・・居宅管理者

- ・ 社会福祉法人に求められる「地域における公益的な取組み」を実施していくにあたり、地域住民の福祉ニーズの把握や今後の交流を深めていく場として開催

◆ 公益的な事業の目的

- ・ 制度の狭間にある解決困難事例にも相談対応していくといった意味合いを含み、社会福祉法人として高齢介護以外の分野に限らず、地域住民の居場所としての役割を果たしていくことを目的とします
- ・ 地域住民とのかかわりを深め、互いを認知し互いを知っていくことを当面の目標とし、今後も継続して行っていくものとします

◆ 居宅会議開催について（毎月開催）

目的： 自施設及び他事業所との連携、介護サービス導入をスムーズに行う

内容： 実績報告、営業報告について

自法人在宅部門への実績報告と要望

公益事業開催に関する地域福祉ニーズ把握 等

## (6) デイサービスの取り組み

### ◆ デイ会議開催について（毎月開催）

目的： デイサービスの安定経営と質の高い介護サービスの提供を目指す

内容： 前月の実績報告と当月の活動予定について  
利用者様個々のケースカンファレンスについて  
各委員会、会議出席者からの報告  
翌月のレクリエーション予定について

### ◆ 運営推進会議開催について

目的：利用者、区市町村職員、地域住民の代表者等に対し、提供しているサービスの内容等を明らかにすることにより、地域に開かれたサービスとすることで、サービスの質を確保することを目的として開催。期間は概ね6ヶ月に1回開催

※令和6年度は9月・3月の年間2回の開催

内容：

- ・日常のサービス提供状況やイベント等の開催状況
- ・事故やヒヤリハットの発生状況と今後の事故防止に向けた取組
- ・利用者の健康管理や防災にかかる事業所の取組
- ・地域連携の取組に関する報告 など

### ◆ 感染症対策について

- ・ 送迎前後の送迎車両内のアルコール消毒
- ・ 送迎前の検温
- ・ 定期的な換気
- ・ オゾンを活用した空気洗浄
- ・ テーブル、椅子等、こまめな消毒

### ◆ 入浴介助研修実施について

- ・ 入浴介助加算Ⅰ（40単位）の算定要件となる入浴介助における研修を、入浴介助を行う全職員に対して年間一回の研修を義務付けることとして、令和6年度より実施。

デイサービス年間行事実績一覧表

		内容
令和6年度	4月	お花見 手作りおやつ(パンケーキ) 外食(はま寿司) まごころの会
	5月	カラオケ紅白歌合戦 行楽弁当
	6月	外食(王将) 外出(片男波公園)
	7月	ショッピング(イズミヤ)
	8月	夏祭り
	9月	美味しい和食の日 敬老会
	10月	運動会 ショッピング(しまむら)
	11月	外出(御手洗池) 行楽弁当
	12月	カラオケ紅白歌合戦 クリスマス会
	1月	初詣 新年会(鍋・催し物)
	2月	手作りおやつ(パンケーキ) 節分行事(巻き寿司・豆まき)
	3月	外食(はま寿司)

(7) ボランティア・実習生受入れ状況一覧表(学生及び一般)・・・生活相談員

	氏名	期間	備考
1	小川氏	令和6年10月22日・令和6年10月25日	障害者雇用制度
2	宮本氏	令和6年5月28日・令和6年5月31日	障害者雇用制度
3	橋本氏	令和6年11月11日～令和6年11月15日	介護労働講習(実務者研修)
4	西岡氏	令和6年11月11日～令和6年11月15日	介護労働講習(実務者研修)
5	林氏	令和6年11月11日～令和6年11月15日	介護労働講習(実務者研修)

(8) その他

◆ 年間面会者数

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
面会者数	426名	1375名	1325名
月平均	36名	114名	110名
面会の多かった月	8月	12月	6月